

テーマ：2012年4-6月期GDP（2次速報値）の予測 発表日：2012年9月3日（月）
 ～ 前期比年率+0.8%への下方修正を予想 ～

第一生命経済研究所 経済調査部
 主席エコノミスト 新家 義貴
 TEL:03-5221-4528

9月10日に内閣府から公表される2012年4-6月期実質GDP（2次速報）は前期比年率+0.8%（前期比+0.2%）と、1次速報段階の前期比年率+1.4%（前期比+0.3%）から下方修正されると予想する。本日公表された法人企業統計の結果を受けて、設備投資と在庫投資の下方修正が見込まれることがその理由。

2012年4-6月期GDP2次速報予測

1次速報実績

	(%)		(%)
実質GDP	0.2		0.3
(前期比年率)	0.8		1.4
内需寄与度	0.3		0.4
(うち民需)	0.1		0.3
(うち公需)	0.2		0.2
外需寄与度	▲ 0.1		▲ 0.1
民間最終消費支出	0.1		0.1
民間住宅	0.8		0.8
民間企業設備	0.8		1.5
民間在庫品増加(寄与度)	▲ 0.1		0.0
政府最終消費支出	0.3		0.3
公的固定資本形成	2.4		1.7
財貨・サービスの輸出	1.2		1.2
財貨・サービスの輸入	1.6		1.6
名目GDP	▲ 0.2		▲ 0.1
(前期比年率)	▲ 1.2		▲ 0.6

※断りの無い場合、前期比(%)
 (出所)内閣府「国民経済計算」

設備投資は下方修正されると予想する。本日公表された法人企業統計では設備投資（名目）が季節調整済み前期比▲0.5%となった。QE推計において実施されている法季のサンプル要因を除去するための断層調整を行っても結果はさほど変わらない、1次速報段階の名目設備投資（前期比+1.6%）よりも弱い結果であり、2次速報での下方修正要因になる。GDP1次速報段階で反映されていなかった6月分の生産動態統計などの結果も踏まえ、GDP2次速報では設備投資は前期比+0.8%と、1次速報段階の同+1.5%から下方修正されると予想する。

在庫投資については、法人企業統計の仕掛品在庫、原材料在庫が1次速報の仮置きよりも下振れたため、在庫投資の前期比寄与度は▲0.1%Ptと、1次速報（0.0%Pt）から下方修正されると予想する。

公共投資については、1次速報段階で未公表だった6月分の建設総合統計の結果を反映して前期比+2.4%と、1次速報段階の同+1.7%から上方修正されると予想する。